

イスラエル…って、どんなところ？

イスラエルの面積は四国程度、約60%が「荒野」と呼ばれる乾燥地帯です。この地で神と人との歴史が繰り広げられました。

◎写真・文 竹下 力 (にこまるツアー・聖望キリスト教会伝道師)

■カイザリア — 使徒たちも旅立った港町



地中海に面した古くからの港町。使徒たちも、ここから宣教旅行へと旅立ちました。パウロが投獄されていた官邸跡には、ポンテオ・ピラトの名前が刻まれた碑文も見つかっています。

■ガリラヤ湖 - 主イエスの宣教の中心地



主イエスと弟子たちの活動の中心だったガリラヤ湖周辺。主イエスはこの地で何を見つけ、何を想い、語られたのでしょうか…。湖の上や野原にて、主イエスを思いながら巡ることができます。

■エルサレム — 主イエスも愛された聖都



イスラエルといえば、やはりエルサレム。オリーブ山からは、その全景を眺めることができます。主イエスも、最後エルサレム入城の際には、このオリーブ山から、都の姿を見たことでしょう。

—エルサレムに近くなったころ、都を見て、イエスは泣いて言われた。「おまえも、もし、この日のうちに、平和ののを知っていたのなら…」ルカ 19:41～42

かつての神殿の場所には、現在、イスラムの黄金ドームが建てられています。

そして一番のメインとなる十字架を背負われた悲しみ道「ヴァイ・ドロローサ」。旧市街の町造りは、当時と同じ、その面影を残しています。



■ナザレ — 主イエスの育った街



ナザレは主イエスが育ったということ以外に歴史上登場しない小さな村でした。みつまっているのは、洞窟の家。中に大工の作業痕のある洞窟があり、ヨセフの作業場とも考えられています。

■死海周辺 — ユダヤ最後の砦 マサダ要塞跡



AD70年、ローマに侵攻されたユダヤ人たちの最後の砦になったマサダ要塞。3年間籠城するも、束縛より自由を望み、彼らは集団自決します。ユダヤ人たちの想いが詰まっている場所です。

■ミツペラモン — モーセたちが流浪した荒野

ベエルシェバから南側に広がるネゲブ砂漠こそ、イスラエルの民が流浪していた場所です。

水のない荒野…。一見、死に面した世界ですが、この地に生きる動物たちに出会う時、そこに「命」を感じることが出来るのです。



■ガザ地区

度々ニュースで登場するガザ地区です。もともとはパレスチナ解放機構(PLO)管轄でしたが、イスラム組織「ハマス」が支配してしまい、PLOからも分離した状態です。ツアーで、この地域に行くことはありません。

ちなみに「パレスチナ」の名称は、旧約聖書にも登場する「ペリシテ人」に由来していますが、彼らはイスラエル王国時代に滅んでいます。のちにローマ帝国が、ユダヤ勢力を抑えるために、この地域一帯を「ユダヤ州」から「シリア・パレスチナ州」と改名したことが、事の始まりです。

Q.イスラエルの情勢は大丈夫？

現時点では、聖地旅行を行うことができるレベルまで治安は保たれておりますので、ご安心ください。なお、危険度が高くなった場合には、旅行会社の判断で行程を変更・中止する場合がございますので、ご了承ください。

にこまるツアー「アクツ企画」は、イスラエルの聖地旅行を中心に、クリスチャンが運営している旅行ブランドです。



東京都知事登録旅行業 第3-3609号

株式会社 HMC ・ にこまるツアー 担当 竹下

E-mail tour@nikomaru.jp

TEL. 03-5812-7080

FAX.03-5812-7085

営業時間 月～金 9:30～18:00 (土日祝休業)

★イスラエル聖地旅行専門サイト <http://www.nikomaru.jp/acts/>

★イスラエル聖地旅行ブログ <http://actskikaku.seesaa.net/>

[にこまる聖地旅行]で
検索してください